



NIIGATA COLLEGE OF NURSING
**CAMPUS
GUIDE
2020**

 **新潟県立看護大学**

- 看護学部 看護学科
- 大学院看護学研究科 看護学専攻
(博士前期課程・博士後期課程)

ADMISSION POLICY アドミッション・ポリシー

本学が求める人材

- 1 看護をはじめとする保健・医療・福祉の分野に興味関心を持ち、社会に貢献したいという志がある人
- 2 人間を尊重し、共感的態度で人とかかわることができる人
- 3 協調性を持ちながら自分の意思を表現できるコミュニケーション力を身につけている人
- 4 高い基礎学力を有し、向上心や探究心をもって主体的に学習や行動ができる人

建学の精神 ゆうゆう・くらしづくり

地域とともに発展する大学

ヘルスケアに携わる者の生涯学習の期待に応え、県民のくらしづくりに貢献する大学
独自性をもってゆうゆうと、看護学教育・研究に邁進する大学

本学の教育目標

- 1 生命の尊厳を感受し、自己への深い洞察力と物事への豊かな想像力に根ざした倫理観を培い、人々の喜び、痛み、苦しみを分かち合い、自己の持てる力を行動に移す能力を養います。
- 2 ささまざまな個々に異なる健康状態の人々と関わることのできる基本的専門知識と技術を習得して、学理に基づいて対応できる実践的問題解決能力を養います。
- 3 社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応して生涯学習を継続・発展させる態度を養います。
- 4 保健・医療・福祉の分野における多職種と協働・連携し、自己の専門性に対する誇りと責任感を持ち、可能な限り利用者のニーズに専心する態度を養います。
- 5 専門職として国内外を活動の場とできる国際的視野をもった調整能力やコミュニケーション能力を養います。
- 6 研究の態度を身につけ、看護学を発展させ、看護の専門性を向上させていく能力を養います。



「ひとに寄り添い、看護を追求し続ける力を培う」

本学は平成14年4月に看護学の単科大学として開学し質の高い看護人材：看護師・保健師・助産師を養成してきました。「ゆうゆう・くらしづくり」を建学の精神に掲げ、「地域文化に根ざした看護科学の考究」を教育・研究の使命としています。開学以来、看護研究交流センターを併設し大学の教育・研究の成果を発信し、地域の皆様と交流する場を設けているところから、「地域と共に発展する大学」の校風を築いてまいりました。

看護にとって大切なのはひとを思いやる心であり、命の大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性を育てることを教育目標の一番にあげています。看護職を目指す仲間との学びがあり、学生・教職員間の近さから丁寧な教育支援体制を整えています。また、近年は、ベトナム、ニュージーランドの大学および医療機関との提携による海外研修プログラムを設け、国際的に視野を広げる教育を推進しています。

看護職は生涯を通じた学びを必要とし、人を対象とする幅広い学習と様々な人々との出会いを通して自身の成長を育むことができる専門職です。平成30年4月に大学院修士課程に続く博士後期課程を開設したところであり、大学院に進学してステップアップを目指す看護職に門戸を開き、多くの修士生が地域の保健・医療・福祉の最前線で活躍しています。

看護専門職に求められる生涯学習の起点を本学において、看護を追求し続ける力を培って下さい。

令和元年5月吉日 学長 小泉 美佐子



「いのち・暮らしをまもり支える看護」

少子高齢化が進み、子どもから大人まですべての人が自分らしく生きることを支える地域包括ケアの実現に向け、看護職が果たす役割は大きくなっています。

ある段階から別の段階に移るときのことを移行と言います。病院から自宅へ退院するなど「看護を提供する場の移行」、積極的治療から緩和療法に移るなど「病気や治療の段階の移行」、がんの子どもが成人するなど「年齢やライフステージの移行」があります。看護職は多様な場で働いていますので、対象者の最も身近なところで移行期のケアを実践することができます。対象者の移行を支える看護は、地域包括ケアそのものです。

本学の教育課程は「生活者の理解」を核とし、移行期のケアを学ぶことができるよう構成されていますので、対象者の健康状態に合わせ必要な保健・医療・福祉をつなぎ、いのちと暮らし、尊厳をまもる看護について思考を深めることができます。

本学で、「いのち・暮らしをまもり支える看護」を学び、国内外へと大きくと羽ばたいてみませんか。

令和元年5月吉日 学部長 平澤 則子



CONTENTS

4	新潟県立看護大学の特色	10-11	1年次	18	主な実習施設紹介	23	継燈式・桜連祭・自治会活動
5	専任教員紹介	12-13	2年次	19	進路(就職・進学)	24-25	施設紹介・看護研究交流センター
6-7	カリキュラム	14-15	3年次	20-21	学生生活について	26	令和2年度入試概要
8	看護師、保健師、助産師への道	16-17	4年次	22	サークル紹介	27	大学院
9	卒業生の声						

新潟県立看護大学の特色

疑問や悩みを気軽に相談できる支援体制が本学にはあります
～単科大学という小規模性を強みに変える教育支援体制:顔が見える関係性の構築～

単科大学 **だからこそ** できる 学生支援の3つの柱

学習支援

学年担任制度

1学年に3人の担任があり、相談したいときにすぐに担任にコンタクトがとれるようになっています。担任との面談は適宜実施し、学習面だけではなく、生活全般の支援も行っています。



オフィスアワー制度

学生からの質問や相談をいつでも受けられるように教員が研究室にいる時間を設定しているため、学生はアポなしで研究室を訪れることができます。毎年5月には新入生を対象に、オフィスアワー週間を設けて、研究室を気軽に訪問できるように支援しています。授業でわからないことや学習に関する悩みもすぐに解決することができます。

キャリア形成・就職・進路支援

国家試験対策・就職委員会の教員が中心となって、1年から卒業時まで様々な方法で情報提供・相談支援を行っています。進路ガイダンスを各学年で開催し、将来の夢にどのように近づいていくかを共に考えます。本学の卒業生から進路選択や就職活動の苦労話を聞く機会もあります。国家試験受験対策としては、3年次から対策講義や模擬試験を二週にわたって開催しています。

国家試験受験状況(過去5年間)

年度	看護師				保健師				助産師			
	受験者数	合格者数	本学合格率	全国合格率	受験者数	合格者数	本学合格率	全国合格率	受験者数	合格者数	本学合格率	全国合格率
H30年度	90人	89人	98.9%	94.7%	90人	79人	87.8%	88.1%	4人	4人	100%	99.9%
H29年度	94人	93人	98.9%	96.3%	96人	88人	91.7%	85.6%	4人	4人	100%	99.4%
H28年度	92人	89人	96.7%	94.3%	95人	92人	96.8%	94.5%	3人	3人	100%	93.2%
H27年度	90人	90人	100%	94.9%	93人	91人	97.8%	92.6%	4人	4人	100%	99.8%
H26年度	92人	92人	100%	95.5%	92人	92人	100%	99.6%	4人	4人	100%	99.9%

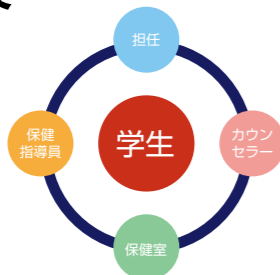
意見交換会

年に一回、自治会役員やクラスの代表学生が、日常の大学生活における意見や提案を、大学教職員に述べる会です。今までにこの会で出された意見によって改善されたこととして、大学構内の売店の設置、図書館の開館時間延長、自習室での飲食禁止の解除などがあります。教職員と学生が丸くなって自分たちの大学の環境を改革していける風土を大切にしています。



生活支援

学生を取り巻く状況を多角的に受けとめ、状況に応じて連携をとりながら一人ひとりの学生に向き合っています。



卒業後の支援

看護職としてのキャリア形成のゴールは卒業時ではありません。そのため、本学の支援は在学中だけではなく卒業後も継続されます。多くの卒業生が、看護職としてのキャリア形成に悩んだら、相談に訪れています。教員と卒業生が集う会が催されることもあります。



本学の支援体制は、「公立大学基本情報2015」※1からもわかります。

	教員1人当たりの学生数	最低年限超過学年率	退学者率	定員充足率
新潟県立看護大学	7.8人	0.5%	1.1%	100.3%
全国の公立看護大学(8大学)の平均※2	7.8人	2.2%	3.0%	103.1%
全国公立86大学の平均	11.5人	4.2%	3.7%	108.9%

※1 「公立大学基本情報」とは、2010年度より学校基本調査に提出されている全国の公立大学の基本情報を収集し一覧形式で公表されたもので、最新情報が2015年度のものである。

※2 新設校は除く。

※ 全ての数値の学生数は学部生と大学院生を含む。

専任教員紹介

本学の教員構成は5領域11科目群で成り立っており、連携協力体制をとりながら個々の専門性を発揮し、学生への教育にあたっています。

詳細は「新潟県立看護大学ホームページ」で見ることができます。➡



領域	科目群	教員名	職位	主な担当科目※学部のみ、大学院は含まない	主な研究テーマ
人間環境科学	情報科学	中村 義実	教授	英語リーディング、英語ライティング	リベラルアーツに根ざす英語教育
		永吉 雅人	准教授	情報処理演習、疫学	経験によって学習する強化学習とその応用に関する研究
		Elderton Simon	准教授	英語コミュニケーション、国際看護演習	第二言語習得
社会科学	社会学	藤田 尚	准教授	自然人類学、基礎ゼミナール	東アジアにおける特異性炎症の起源解明
		渡辺 弘之	准教授	社会福祉概論、地域社会と住民組織	ベトナムのハンセン病患者への社会復帰支援
		徐 淑子	講師	保健医療行動科学、基礎ゼミナール	健康現象についての医療人類学的研究
自然科学	生物・医学	境原 三津夫	教授	人間社会と倫理、臨床病態学	SANEを活用するための医療システム構築に関する研究
		堀江 正男	教授	生物学、形態機能学	運動機能発現に関わる神経回路網の解析
基礎看護学	看護管理学	川永 喜久子	教授	看護管理、国際看護論	キャリア開発と人材の育成に関する研究
		舟島 なをみ	教授	看護研究法	医療事故防止のための「看護職包括患者安全教育推進システム」の開発
		岡村 典子	准教授	看護学概論、看護援助論	看護におけるコミュニケーション(感情活用)・人間関係に関する研究
		川島 良子	助教	基礎看護技術演習、基礎看護学実習	臨床実習指導に関する研究
		谷内 田潤子	助教	基礎看護技術演習、基礎看護学実習	健康教育、患者教育
		山岸 美奈子	助教	基礎看護技術演習、基礎看護学実習	新人教育
		上坂 唯子	助手	基礎看護学実習	臨床実習指導
		石田 和子	教授	成人看護学、総合実習	がん化学療法を受けている患者の有害事象の予防と対処および看護介入に関する研究
		高柳 智子	教授	成人看護学、家族看護論	脳卒中リハビリテーション看護
		酒井 禎子	准教授	成人看護学、成人看護学演習	エンドオブライフケアおよび緩和ケアに関する研究
臨床看護学	成人看護学	山田 正実	准教授	災害看護活動論、成人看護学演習	呼吸ケアに関連した看護
		榊澤 三奈子	准教授	成人看護学、看護研究法	がん関連倦怠感のセルフマネジメントを支援する看護介入研究
		小林 綾子	講師	成人看護学、看護研究法	糖尿病患者の看護に関する研究
		石原 千晶	助教	成人看護学演習、成人看護学実習	広汎子宮全摘出術後の排尿障害に関する研究
		石岡 幸恵	助教	成人看護学演習、成人看護学実習	がん看護
		相澤 達也	助手	成人看護学実習	がん看護
		坂田 智佳子	助手	成人看護学実習	がん患者の在宅療養に関する研究
		小久保 明子	教授	小児看護学、小児看護学演習	子どもを亡くした遺族のケア
		野澤 祥子	助教	小児看護学演習、小児看護学実習	先天性心疾患の子どもと家族に関する研究
		室 亜衣	助手	小児看護学実習	NICU退院後の在宅支援に関する研究
母性・助産看護学	母性・助産看護学	小林 宏至	助手	小児看護学実習	新生児と災害対策の研究
		中島 通子	教授	母性看護学、助産学概論、助産管理学	母性・父性に関する研究
		西田 絵美	准教授	母性看護学、地域母子保健	看護師のケアリングを高める教育
		阿部 正子	准教授	ウイメンズヘルス、妊娠助産診断・技術学	不妊に悩む女性や家族への看護
		天谷 まり子	助教	母性看護学演習、母性看護学実習	合併症を有する女性の妊娠・出産・育児への看護に関する研究
		杉山 泰子	助教	産婦・新生児期助産診断・技術学、助産学実習	妊娠先行婚の女性のケア
		上田 恵	助手	母性看護学実習、助産学実習	性的マイノリティの研究
老年看護学	老年看護学	小野 幸子	教授	老年看護学	認知症高齢者とその家族の看護援助に関する研究
		原 等子	准教授	老年看護学、専門ゼミナール	認知症ケアに関する研究
		河原 畑尚美	准教授	老年看護学、老年看護学演習	高齢者看護学教育に関する研究
		大口 洋子	助教	老年看護学演習、老年看護学実習	高齢者のストレスに関する研究
		大倉 由貴	助教	老年看護学演習、老年看護学実習	認知症高齢者のケアに関する研究
		東條 紀子	助教	老年看護学演習、老年看護学実習	高齢者と家族への在宅療養支援に関する研究
地域生活看護学	精神看護学	長谷川 雅美	教授	精神看護学、国際看護活動論	うつ病者の自殺予防に関する研究
		田口 玲子	准教授	精神看護学、看護倫理	看護援助におけるホリスティックなアプローチに関する研究
		後田 穰	講師	精神看護学、精神看護学演習	精神障害者のその人なりの生き方をどう支えるか
		安達 寛人	助教	精神看護学演習、精神看護学実習	豪雪地帯で生活を継続している精神障がい者の経験
		船山 健二	助教	精神看護学演習、精神看護学実習	触法や罪を犯した障がい者/高齢者の社会参加や看護に関する研究
		平澤 則子	教授	地域看護学概論、公衆衛生看護学概論	難病患者家族の在宅療養支援
		高林 知佳子	准教授	公衆衛生看護技術論、公衆衛生看護管理論	地域の健康課題の解決を図る保健師活動に関する研究
		川野 英子	准教授	在宅看護論、在宅看護論演習	在宅看護に関する研究
		井上 智代	准教授	対象別公衆衛生看護活動論、公衆衛生看護管理論	地域在住高齢者の生活機能維持・向上のための支援
		野口 裕子	助教	対象別公衆衛生看護活動論、公衆衛生看護学実習	災害時の保健活動
地域生活看護学	地域看護学	前川 絵里子	助教	公衆衛生看護学演習、在宅看護論実習	難病保健
		久保野 裕子	助手	在宅看護論実習、公衆衛生看護学実習	労働者の生活習慣病を予防するための看護

履修年次		1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	人間と文化	▲心理学 ▲文化人類学 ▲社会学 ▲哲学	▲法学 ▲教育学		▲宗教学
	人間と自然	▲生物学 ▲化学 ▲環境生態学 ▲自然人類学			
	英語	●英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ ●英語ライティングⅠ・Ⅱ ●英語リーディングⅠ・Ⅱ	▲英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ ▲英語ライティングⅢ・Ⅳ	▲英語リーディングⅢ・Ⅳ	
	健康スポーツ	●健康スポーツ学Ⅰ・Ⅱ			
	総合	●基礎ゼミナール ●ふれあい実習			
専門支持科目	人間と社会	▲人間社会と倫理 ●社会福祉概論	●保健・医療行動科学 ▲行政法 ●医事法 ●社会保障論	●健康医療政策論	▲地域社会と住民組織 ▲地域経済論
	人間と情報	●情報処理演習 ●情報科学			
	人間のからだと健康	●形態機能学Ⅰ・Ⅱ ●臨床栄養学 ●臨床生化学 ●臨床病理学Ⅰ ●臨床薬理学	●臨床病理学Ⅱ ●公衆衛生学 ●感染学 ●疫学	●保健統計演習	
看護	基礎看護	●看護学概論 ●看護援助論Ⅰ・Ⅱ ●基礎看護技術演習Ⅰ ●基礎看護学実習Ⅰ	●基礎看護技術演習Ⅱ ●基礎看護学実習Ⅱ		
	臨床看護	●成人看護学Ⅰ	●母性看護学Ⅰ・Ⅱ ●小児看護学Ⅰ・Ⅱ ●成人看護学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	●母性看護学演習 ●小児看護学演習 ●成人看護学演習 ●母性看護学実習 ●小児看護学実習 ●成人看護学実習	
	地域生活看護	●地域看護学概論 ●公衆衛生看護学概論	●老年看護学Ⅰ・Ⅱ ●精神看護学Ⅰ・Ⅱ ●公衆衛生看護技術論Ⅰ・Ⅱ ●対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ ●在宅看護論	●老年看護学演習 ●精神看護学演習 ●対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ ●在宅看護論演習 ●老年看護学実習 ●精神看護学実習 ●在宅看護論実習	
	看護の統合	●国際看護論 ●ライフステージと看護	△家族看護論		●看護行政論 ●総合実習 △国際看護活動論 △災害看護活動論 ●看護管理 ●看護倫理 ●総合科目
	看護の探求			●看護研究法	●専門ゼミナールⅠ・Ⅱ
	保健	公衆衛生看護学		○公衆衛生看護管理論 ○対象別公衆衛生看護活動論Ⅲ ○公衆衛生看護学演習	○公衆衛生看護学実習
	助産	助産学		◇助産学概論 ◇ウィメンズヘルス ◇地域母子保健	◇妊娠期助産診断・技術学 ◇助産管理学 ◇分娩期助産診断・技術学 ◇産褥・新生児期助産診断・技術学 ◇助産技術学演習 ◇助産学実習

●:必修科目 ▲:選択科目 △:看護師課程選択必修科目 ○:看護師・保健師課程必修科目 ◇:看護師・助産師課程必修科目 □:選択科目(卒業要件に含まず)
2019年4月現在

教育カリキュラム

本学の教育課程は、教育理念に基づく教育目標を達成するために、「基礎科目」「専門支持科目」「専門科目」の3科目群で編成し、4年間を通じて段階的に教育が受けられるように科目を配置しています。看護学や看護職への動機づけを高めるため初年時より専門科目を配置しています。

基礎科目

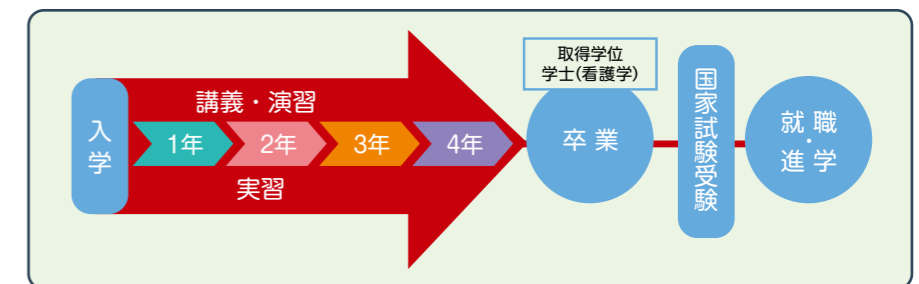
豊かな人間性の涵養と総合的判断力、コミュニケーション能力の土台となる多様な視点を育成します。

専門支持科目

看護に必要な科学的知識として、病態、感染について理解できること、および保健・医療・福祉の視点から看護活動の必要性が判断できる力を養成します。

専門科目

「その人らしい健康生活」の実現を重視した看護実践に必要な専門知識や技術、その展開方法、さらに看護をめぐる現代的課題に対応し、看護学の課題を実践的・学際的に探究できる力を養成します。



卒業時に取得できる資格

看護師国家試験受験資格

「看護師コース」を選択し、所定の単位を修得します。

保健師国家試験受験資格

「看護師・保健師コース」を選択し、所定の単位を修得します。
また、保健師国家試験合格後、教育委員会への申請により看護教諭2種免許が授与されます。
(所定の単位修得が必要です)

助産師国家試験受験資格

「看護師・助産師コース」を選択し、所定の単位を修得します。

活躍できる職場

- 病院、診療所
- 訪問看護ステーション
- 老人保健施設
- 地域包括支援センター
- 保健所、市町村役場
- 小・中・高校保健室
- 企業内の保健管理室
- 研究機関 等

進学

- 大学院
- 助産師養成課程
- 看護教諭特別科 等



看護師・保健師・助産師への道・卒業生の声

看護師

専門家への道 看護師をめざせ

看護師は国家資格であり、生涯の資格です。看護師になるためには、看護師養成所を卒業し国家試験受験資格を得たのち、年に1回の看護師国家試験を受験し、合格すると看護師資格を取得することができます。

看護師養成所には専門学校や短期大学、大学があります。

本学は看護学部の単科大学です。看護師になるためには4年間の学習をして、必要な単位を修得し卒業する必要があります。3年間の看護師養成課程と比べて1年多い学習期間ではありますが、その1年間には看護学の奥深い学習を行うことができます。

看護学は積み重ね教育であり、1年次には看護とは何かを学びます。自ら調べたり、看護理論に触れることで看護の考え方を培います。

2年次にはさらに実習が行われ、受け持ち患者を受け持つ、自ら立案した看護計画を基に看護を展開することで、看護の喜びに触れることができます。その後はさらに専門的な看護学の学習を深めます。

3年次には専門的な看護学の技術や看護展開方法を学び、領域別実習に備えます。そのあと、領域別実習では看護の専門的な実習を通して、看護師に近づいていくとともに、人間として成長していくことが期待されます。

4年次では今までの学習の総まとめとなる、総合実習が行われます。さらに大学ならではの看護研究に取り組みます。自らの疑問を問いかけながら、「看護とは何か」を科学的思考を基に追求しながら研究プロセスを展開していきます。その研究成果を看護研究発表会で公表し4年間の学習を終えます。

このようにして、看護大学ならではの学習を深めることで、単なる看護のハウツーを身に着けるのではなく、看護を理論的、科学的に追求しながら看護の学習をすることができます。

国家試験対策も行っており、看護師資格取得までの道のりを、教員がサポートします。

授業風景



卒業生の声



新潟大学地域教育センター
魚沼基幹病院
救急部門手術室看護師

男性看護師も活躍しています!

私は元気あふれる男性看護師として患者さんのために働きたいと思い、看護師を目指しました。看護師は女性の仕事としてのイメージが強いかもしれませんが、実際には多くの男性看護師が働いており、様々な場面で活躍することができます。魚沼基幹病院ではスタッフ間の仲も良く、温かい雰囲気の中で仕事ができるため、男性看護師にとっても、働きやすい環境だと思います。私は今、手術室で働いています。手術を受ける患者さんは、色々なことに不安がいっぱいですが、自分が行える看護を考え、患者さんが無事手術を終える姿をみると、やりがいを感じます。まだまだわからないことも多いですが、日々勉強を重ねて患者さんのために元気に頑張っていきたいと思っています。

保健師

専門家への道 保健師をめざせ

保健師は、地域の赤ちゃんから高齢者までのあらゆる年代と、病気の人だけでなく健康な人も含めたさまざまな健康レベルの幅広い人を対象に疾病の予防や健康増進を図ることを目指すとともに、関係機関や組織とも連携しながら集団や地域全体の健康レベルを向上させる役割を持つ公衆衛生看護の専門職です。

保健師になるには、国家資格の「看護師免許」と「保健師免許」の両方が必要になります。本学の「看護師・保健師課程」では、看護師と保健師の両方の国家試験合格を目指しています。

本学では、看護師になるための専門科目を学ぶことと並行して、すべての学生が1年次前期から3年次前期にかけて公衆衛生看護に関する科目を学びます。それは将来どの看護職になろうとも地域を意識した看護活動ができるようになるためです。具体的には、1年次で地域を基盤とした看護活動の考え方などを学び、2年次から3年次前期までに地域診断の目的や方法、地区活動計画の立て方、家庭訪問や健康相談などの技術、ライフステージや健康課題に応じた保健師の役割や活動などを学びます。

そして、「看護師・保健師課程」を選択した学生は、3年次後期にそれまで学んできた公衆衛生看護の専門性をより深めていくために、公衆衛生看護学の専門科目を通し、学校や企業における看護活動、公衆衛生看護管理などを学びます。さらに演習を通し、保健師として活動していく際に必要となる基本的な技術を修得し、4年次前期には5週間にわたる実習を通し、保健所・市町村の看護活動、個人・家族への看護活動、さまざまな場における看護活動などを学びます。

このように、順を追って「看護師・保健師課程」の必修科目を学びながら卒業要件を満たす単位を修得することで、看護師と保健師の国家試験の受験資格が得られます。

授業風景



卒業生の声



新潟市西区役所健康福祉課

保健師の魅力

私が保健師を志望した動機は、中学生の時に実施した、職業適性検査で保健師が出てきたところからです。そこで保健師という職業を知り、人と接することが好きだったこともあり、保健師を志望しました。

私は現在、新潟市西区役所で3歳児健診やがん検診を担当しています。住民の方がスムーズに健(検)診が受けられるように事業を運営しています。

保健師の一番の魅力は、家庭訪問や事業で赤ちゃんから高齢者まで多くの住民と接することができることだと思います。また、住民と一緒に地域の健康について考えられるのが保健師の魅力の一つだと思います。今後は、地域の健康について保健師、関係職種、住民と協働しながら向上に向けて取り組みたいと思います。

助産師

専門家への道 助産師をめざせ

本学の助産師課程では、生命の誕生の場において、母と子に寄り添い、きめ細やかなケアを提供することができる助産師を育成することをめざしています。

助産師になるための学習は3年次後期から始まります。そのため、3年次前期に助産師課程の学内選抜試験を実施しています。

3年次には「助産学概論」「ウィメンズヘルス」「地域母子保健」の科目を通して、助産師の専門職性や女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師のあり方について学びます。4年次には「助産診断・技術学」「助産技術学演習」の科目を通して、助産師としての専門的な知識と実践力を修得していきます。約10例程度の分娩介助を行う「助産学実習」は、新潟県内の周産期ケアの充実した施設において、経験豊かな臨床助産師が教員とともに分娩介助技術の指導に当たります。さらに、NICU実習や助産院における実習も組みこまれており、母子保健の発展に貢献する助産師の多様な活動を経験することによって、助産師活動の場について広く深く考えていくことができるようになっていきます。

本学の教育の大きな特色は、2年次から3年次にかけて学習する看護学の一つの領域である母性看護学を担当する教員が、継続して助産学の教育に当たっていることです。そのため、助産師課程を専攻する学生を、助産学の学習が始まる前からよく知っています。つまり、助産学の学習を一から始めるのではなく、それまでの看護学の学習の積み重ねとして助産師をめざす学生を支援しています。

授業風景



卒業生の声



新潟県立十日町病院
助産師

母子に寄り添う助産師を目指して

私が助産師を目指したきっかけは母性看護学実習で分娩をみさせて頂いたことです。初めてみた児の誕生の瞬間は今でも忘れられません。その頃から命の誕生に立ち会い、母子に寄り添う助産師の姿に憧れをもちました。

私は県立十日町病院で助産師として働いています。混合病棟であるため、出産件数は多くはありませんが、1件1件のお産としっかり向き合い、母子と丁寧に関わる事ができ、充実した日々を送っています。

助産師として働いて思うのは誕生の瞬間に立ち会わせて頂ける素晴らしい職業であると同時に責任感も大きいと感じています。分娩後、育児や授乳に悩む母子は少なくありません。退院後、母子が地域に戻り、困ることがない様、先を見据えた看護が出来る助産師になりたいです。

1年次

First year students

看護の基盤となる幅広い教養知識や 基礎的な看護の知識・技術について 学びます

看護の基盤となる「基礎科目」や「専門支持科目」を学ぶとともに、「専門科目」として基礎的な看護の知識・技術・態度を身につけます。

看護の教育課程では、1年生のうちからたくさんの講義を受け、単位修得に励みます。また、少人数制の「基礎ゼミナール」で、スタディスキルや小グループでの主体的な学び方に慣れていきます。

看護の対象である人間を理解するために、心理学や社会学といった「基礎科目」や、心身の仕組みや機能を学ぶ形態機能学などの「専門支持科目」を学ぶとともに、“看護とは何か”といった看護の概念と理論、看護の歴史や制度に関する「看護学概論」も学びます。また、人間の生涯にわたる健康上の課題や看護の特徴を概観する「ライフステージと看護」や、保健師課程の選択に役立つように「公衆衛生看護学概論」も学びます。

さらに、本学では情報収集力・情報発信力の育成を重視し、英語やIT・情報処理に関する授業が充実しています。後期には、地域の方々との交流を通して生活者の視点に立って考えることを目指す「ふれあい実習」、そして初めて病院に行って看護活動を見学する「基礎看護学実習I」があります。

Q&A

1年生
(平成30年度)

Q1 一人暮らしは、寂しくて不安…大丈夫ですか？

A 私は本校入学を機会に、初めて家族と離れて一人暮らしをしています。当然、最初は不安でした。しかし友人ができ、その友人とは勿論、先輩や先生にも相談するようにして、不安は徐々になくなりました。

Q2 友達が作れるかな～？

A 入学後、直ぐに新入生だけの合宿、校外実習等があります。さらに球技大会や桜連祭、サークルなどを通じて、先輩と学年の垣根を越えた交流もあります。なので心配ありません！

Q3 大学の勉強って高校とどう違うの？

A 高校の勉強は、社会人として必要な一般的知識を学ぶものです。本学では、国試や実習に向けた講義、演習を行います。知識をつけるだけでなく、実習や臨床の場で生かせるよう、しっかりと理解していくことが必要です。



Curriculum: Building a foundation for nursing

1 基礎ゼミナール

専門の異なる専任教員による少人数の参加型授業です。専門職が生涯にわたり学習活動を続けるうえで、不可欠かつ基本的なアカデミックスキルを、討議・調査・相談・報告(発表)を積み重ねながら学習していきます。学問探究の面白さを感じつつ、さらに学生同士や教員との交流を通じて、個性を尊重し相互に刺激し合う関係を確立することも学んでいきます。



2 形態機能学I

形態機能学では、ヒトの運動器系、神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系など、各系統別に諸器官の構造・機能を学びます。また、ヒトが健康を維持するためにその身体に備わる仕組みも合わせて理解してもらいます。それによって、その後学ぶ病気のことや、科学的な根拠に基づく看護活動についての理解が深まります。



3 基礎看護技術演習I

看護者は、その対象となる人々が安全・安楽に生活を送れるよう、療養生活上で様々な看護を実践しています。基礎看護技術演習Iでは、バイタルサイン測定などの基本的観察技術、病床環境の整備や清潔・食事・排泄などの日常生活援助技術の基本を身につけます。演習では、教員のデモンストレーションや病院看護師との連携により技術を確実に習得できるよう支援します。



4 情報処理演習

前期の「情報処理演習」では、良いレポート卒論を作成するための考え方をもち、情報処理の具体的な操作を学習します。そうすることで、統合的な情報処理の利用方法を学び、PCを使用する際に感じるストレスを少なくしていきます。次に「情報科学」において、いかに「情報」を看護の実践や学問としての看護学に活かすかを学びます。



Pick up

5 ふれあい実習

ふれあい実習は、入学後初めての实習になります。この実習では、上越・妙高地域で暮らす「元気な人々」の实生活の場をフィールドとして、学生たちは、一般のご家庭にお邪魔させて頂き、そこに暮らす方々とふれあい、さらに地域の伝統文化を体験することで、そこに暮らす一人ひとりのさまざまな価値観について考え学びます。現地実習は3日間という短期間になりますが、普段の生活と異なる場所に身を置いて、そこに暮らす人々の生活に触れ、その声に耳を傾けることで、他人の価値観について考え、ひいては自分の価値観を知ることができる有意義な体験になると思います。



Pick up

6 国際看護演習

グローバル化が進む今日、看護の世界においてもグローバル化への対応が急速に求められています。本学も、優れた国際感覚を持つ看護師の養成に向けて、看護・医療領域を重視した英語教育や国際看護論の講義をする一方、2014年から看護の学びを備えた約2週間の海外研修プログラムを実施しています。

百聞は一見に如かず。臨地で多くの人々との出会い、多くの学びを得ることでしょう。そして、あなたの生き方、看護に対する考えに大きな影響を与えるこ

とでしょう。また、帰国後の研修報告会の他、大学祭等において研修の報告をお願いすることがあります。海外の看護や文化について理解を深めるとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高め、日本及び国際社会で活躍できる能力を養います。また、履修学年は「1~4年」となっていますが、この演習は3月の実施を予定しているため、3年生が参加した場合、成績評価と単位認定は4年生になって出されます。



2年次 Second year students

専門科目が増え、 患者さんを受け持つ 病棟実習もスタートします

1年次の専門科目を基盤にして、看護に必要な知識を深め、科学的根拠に基づく看護技術を修得していきます。健康状態やライフステージに応じた対象者とその家族の看護の必要性を理解するための科目「母性看護学」「小児看護学」「成人看護学」「老年看護学」「精神看護学」「公衆衛生看護学」が配置されています。また、看護に必要な科学的知識としての病態や感染、保健・医療・福祉の視点から看護活動の必要性を学ぶ専門支持科目もあります。

具体的には、「基礎看護技術演習Ⅱ」を通して、診療に伴う援助技術および健康査定に必要なフィジカルアセスメントの技術を学びます。そして、事例演習を通して看護過程の展開技術を学んだあと、「基礎看護学実習Ⅱ」で実際に患者さんの看護を体験します。学生は看護実践を通して、知識・技術・態度の自己の成長を自覚するとともに、後期の学習への意欲を高めていきます。

Q&A

2年生 (平成30年度)

Q1 2年次の学習はどのようなものがありますか？
1年次の学習とはどのように変わりますか？

A 2年次になると、より専門的で実践的な学習へと移行します。具体的には、老年看護学、小児看護学などの科目で、対象別の看護の方法をより詳しく学習していきます。「基礎看護学実習Ⅱ」では、病院において一人の患者様を受け持たせていただき、自分で考えて計画した看護を実践する学習をします。

Q2 学業とプライベートな生活の両立はどのようにしていますか？
何か工夫があれば教えてください。



A 私は学業以外に、サークル活動とアルバイトをしています。まず、集中して授業を受け、その日のうちに復習することを心掛けました。私は長時間勉強することが苦手なので、自宅での学習時間は1時間程度です。そのかわり毎日の自宅学習を日課として継続することに努力しました。アルバイトがない日は勉強をしても時間が余るので、サークル活動に参加したり、家事をしたり、友人と遊んだりして、充実した毎日過ごしています。また、まかないの出るアルバイトをしているので、週に3日は夕飯に困ることはありません、夕食を作る時間を短縮できています。

Curriculum: Acquiring fundamental nursing knowledge and skills

1 基礎看護技術演習Ⅱ

健康査定に必要なフィジカルアセスメントや診療に伴う援助技術を学びます。また、事例を用いて知識や技術を活用する考え方の基本を学習します。

診療に伴う援助技術を習得する際には、写真のようにモデルを使用して的確な技術の習得を目指します。



2 基礎看護学実習Ⅱ

この実習は、病院における医療チームの活動を理解する事、今までに学んだことを基本として健康上の問題をもつ患者さんに個別的な日常生活援助を実践する能力を培う実習です。初めて、患者さんを受け持つ、学生が自ら立案した看護計画を基に看護実践を行います。看護実践を通して、看護とは何かの理解を深めていきます。



3 精神看護学Ⅰ

精神看護学は、人がより豊かな生活を送るために必要な精神の健康について考え、人と人、人と環境との関係の中でその人にとってより良い精神の健康に向けて、看護専門職として援助できる基礎的な能力を育てます。精神看護学Ⅰでは、精神の健康を理解するために必要な心の機能について学び、現代社会に生じている様々なメンタルヘルスの課題を理解します。



4 老年看護学Ⅰ

老年看護学では、超高齢社会の日本における高齢者への看護について考えていきます。高齢者の発達課題や尊厳、高齢者を取り巻く医療・介護・保健サービス、地域社会とのかかわり、家族ケアなどについて学び、その人らしい自立の在り方について考えます。学生が老化疑似体験から高齢者の身体面の不自由さ、生活への影響について考える授業もあります。



Pick up

5 英語

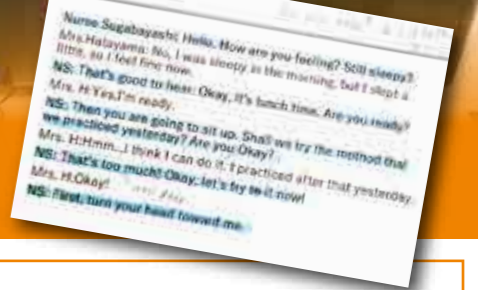
英語の授業では、看護学生の読解力・記述力・会話力を向上させるために様々な工夫をしています。英字新聞の記事から看護や医療のトピックを精選し、知識を増強しながら英語速読力や英語表現力を磨きます。英語コミュニケーションの授業では、ネイティブスピーカー教員の指導のもとで、医療の現場で役立つ英語を実践的に学びます。国際化する看護の世界に対応できる英語力の養成を目指しています。

2年生 (平成29年度)

英語の授業では、食事介助や車いす移乗など実際の看護場面について英語でシナリオを作り、それをロールプレイします。そのロールプレイをビデオで撮影し、授業の中で上映会を行い、先生からアドバイスをもらいます。この体験から、実際の看護現場でどのようなケアを行えばよいかを考えられるとともに、今後現場で外国の患者さんと出会った時に役に立つ英語でのコミュニケーションスキルを身に付けることができます。国際化が進み、看護の現場でも外国の方と接する機会が増えるため、この授業で英語でのコミュニケーションスキルを高めることの意義を感じました。



作成したシナリオ



食事介助のロールプレイを撮影



Elderton Simon 先生

Nurses are the interface between humanity and medicine. Communication is such an important part of care. I am proud to work with our students, Japan's future nurses, in building their international communication skills. Good luck, everyone!



3年次 Third year students

各領域の実習を通して 看護実践力を 磨いていきます

3年次は、これまで学んだ多くの基礎的・専門的な知識と技術を、臨地実習を通して、看護実践力として統合する学年です。

前期は、学内で実践の場を想定した看護学演習を行います。各看護学領域で、それぞれのライフステージや健康状態で生じる患者や家族のかかえる問題について、疾患や治療の知識を土台にQOL(生活の質)などの様々な視点から分析し、個別性のある看護援助について学んでいきます。演習課題などを学生たちが主体的に学習できるよう、各実習室やシミュレーション室などの設備や機材を充実させています。

前期後半からは、いよいよ領域別実習がスタートします。母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論の6領域の実習です。臨床に赴き、現場の実践者に指導を受けながら看護援助を体験し、さらに考察して学びを深めます。実習場所は上越地域の病院・施設で指導体制も充実しています。また、後期は保健師課程(選択)と助産師課程(選択)の科目が開講します。

Q&A

3年生
(平成30年度)

Q1 領域別実習を終えてどうですか?

A 実習では、1人の患者さんとじっくり向き合い、看護ケアについて考えるという貴重な体験ができました。その中で、自分が将来なりたい看護師像をイメージすることもできました。辛いこともありましたが、日々の実習を一緒に頑張っている仲間や、優しい患者さんと先生方に支えられて、乗り越えることができました。患者さんの「いい看護師さんになってね」という言葉を忘れずに、一人前の看護師になれるようこれからも努力していきたいです。



Q2 期間の長い実習をどう乗り切りましたか?

A いっぱい寝て、いっぱい食べる!友達と美味しいご飯を食べ、疲れたらすぐに寝てストレスを発散していました。

Q3 3年生はどんなクラス?ズバリ!

A がんばり屋さんが多い!仲間と互いに高め合いながら、自分の目標に向かって努力しています。

Curriculum: Practicing knowledge and skills in clinical settings

1 成人看護学演習

人生の中で最も長い成人期は、青年期から壮年期、そして向老期といった各期の発達課題や役割が異なり、かかえる健康問題も違います。演習では、健康障害をきたした人の身体や心の状態、あるいは社会生活や家族への影響を理解して、その人が回復・適応するために必要となる看護援助技術について学びます。さまざまな事例が提示され、一次救命処置や手術後の観察、慢性病の患者の教育指導など、講義内容を復習しながら着実に知識と技術を習得できるようになっています。



2 母性看護学演習

2年次に学習した「母性看護学I・II」と3年次後期の「母性看護学実習」をつなぐ位置づけの科目で、病院での看護実践に即した母性看護技術と妊産褥婦・新生児に対する看護の展開方法について学びます。

看護技術は、胎児心音の聴取、新生児の観察や沐浴、褥婦への授乳指導技術などを、様々な医療機器や学習用モデルを用いて実施しながら習得します。看護の展開方法は、正常分娩後の母子の事例を通して、母子に寄り添い健康を支える看護について学びます。



3 精神看護学演習

授業は模擬患者事例における看護展開と看護実践に活用できる精神看護技法について学びます。特に精神看護技法ではレクリエーション活動を取り入れ、学生が模擬的に看護師役と患者役を交替で体験し、レクリエーションを通じて看護の対象者がコミュニケーション能力や意欲を高めたり、自信につなげたりする技法を学びます。また、プロセスレコードという自分と相手(患者さん)との相互作用を記録する技法により、看護場面を再構成し自己の心の動きや相手の気持ちの理解を深められるような学習をします。



4 小児看護学演習

小児期は、乳幼児から思春期までの最も成長発達が著しい時期です。健康障害のレベルと成長発達に応じた日常生活援助や検査・治療・診察時の看護技術を学びます。内服や吸入、清潔ケアを嫌がる子どもの気持ちに寄り添いながら、看護を実践するための工夫も学びます。小児各期に特有な事例が提示され、看護場面のロールプレイを通して、実際の場で活用できる小児看護技術の習得を目指します。



Pick up

5 在宅看護論実習

在宅看護論実習の実習施設は、訪問看護ステーションです。学生は、訪問看護師とともに在宅療養者宅を訪問し、指導のもと療養者やその家族を対象に看護ケアを実施します。看護実践や他職種・他機関との協働場面の見学などを通して、訪問看護の特徴、在宅ケアチームにおける訪問看護師の役割などについて理解を深めます。

訪問かばんの中身はこちら。健康チェックの必需品。



3年生
(平成30年度)

在宅看護論実習は、受け持ち利用者さんのほか何例かの利用者さんの自宅を訪問し、看護を実践する実習でした。その中で私は他職種連携や生活の視点など様々なことを学び、特に家族看護の大切さを実感しました。家族看護については、病棟実習でもご家族と関わって学ぶ機会がありましたが、在宅看護ではご家族の協力が不可欠な場合が多く、その人らしい生活を支えるには家族も含めてアセスメントする必要があると気づくことができました。この実習での学びはその後の実習でも生かされ、在宅での生活、家族看護を意識した良い実習ができたと感じています。

実習中の先生とのカンファレンス。笑顔だけれど、結構緊張する...



いざ、訪問かばんを持って出発。地図で訪問先へのルートを確認します。

ある1日のスケジュール

- 8:30 ステーションでラジオ体操
朝礼、申し送り
- 9:00 Aさん(高血圧症、心臓の病気、お小水の管あり)宅訪問
- 10:30 Bさん(パーキンソン病、アルツハイマー病)宅訪問
- 12:30 指導者さん、先生とカンファレンス
- 13:00 昼食
- 14:00 明日の同行訪問者の情報収集
- 15:30 受け持ち利用者さんの看護計画の立案
- 16:00 ステーションで終了のあいさつ
実習終了

川野 英子 先生

2週間の実習では、学生1人あたり平均10件の在宅で療養している人のお宅に訪問させていただきました。訪問先は、一人暮らしや高齢夫婦のお宅が多く、延べ404件、次いで精神疾患を持つ人への訪問で、延べ226件でした。訪問は訪問看護師とともに伺いますが、学生は訪問先で血圧や脈拍などの測定や薬の管理方法について指導させてもらうことが多いです。また、理学療法士などの看護師以外の医療スタッフと訪問したり、会議を見学したり(延べ97件)することを通して、地域医療における看護の役割を学んでいます。

※延べ件数は2018年度の実績

4年次 Fourth year students

看護の知識・技術を統合して看護実践力を磨くとともに、専門職としての研究的思考力の発展をめざします

4年次は大学生として総仕上げの一年です。看護専門職としての研究的視点や生涯学び続ける力を養うために少人数制「専門ゼミナール」で看護研究に取り組みます。また、「総合実習」では、看護実践の専門性の追求や、看護マネジメントを学びます。さらに将来、多様な分野で活躍できるように「看護行政論」「国際看護活動論」「災害看護活動論」などの科目があります。

Q&A

4年生
(平成30年度)

Q1 4年生になったら就職活動もしないといけないと思いますが、いつから始めれば間に合いますか？
また、どのようなサポートが受けられますか？

A 4年生になると、実習、看護研究、国家試験の勉強とやらなければならないことがたくさんあるので、気になる病院の見学やインターンシップは3年生の春頃から始めた方がいいです。就職試験を受ける病院を決めたのは4年生の6月頃でしたが、ゼミの先生が、履歴書の書き方、面接練習、小論文指導など、手厚くサポートしてくださるので、安心して就職試験に臨むことができました。おかげで夏には第一志望の病院の内定をいただくことができました。



4年生
(平成30年度)

Q2 私は将来、小学校の保健室の先生になりたいと考えているのですが、どうすればなれますか？

A 私も高校生の頃から養護教諭になりたいと夢を持っていました。養護教諭になるには教育系の大学に行く方法もありましたが、看護の知識を持った先生になりたいとこの大学に入学しました。大学で決められた単位の取得と保健師免許を得ることで養護教諭2種免許を申請することができます。しかし私は、もっと専門的な学習をして1種の免許がほしかったので、さらに1年進学することにしました。4年生の夏ごろから先生方のサポートを受けながら受験勉強を始めました。無事進学先も決まり、夢にまた一歩近づいています。



4年生
(平成30年度)

Q3 私は、3年生の看護学実習でいろいろな看護の現場を見てから、将来の進路を考えていきたいと思っていますのですが、実習開始前にコース選択をしなければならないと聞きました。もし、4年生になってから、助産師になりたいと思った場合はどうすればいいですか？

A 私も3年生の実習が終わってから「助産師になりたい」と強く思うようになりました。そこで、専門の先生のところにご相談に行きました。そして、卒業後に進学することに決め、4年生の春から助産学専攻科のある大学を探し始めました。国家試験の勉強と並行して、入試の勉強をすることは簡単なことではありませんでしたが、先生方に小論文や面接練習などを何回もしていただき、無事に志望校に合格することができました。



Curriculum: Deepening learning through specialized practice

1 地域社会と住民組織

日本は今、高齢化や自然災害の発生などによって、地域社会の形がどんどん変わろうとしています。「地域社会と住民組織」では、地域の中で生じる諸問題について直視し、それを乗り越えようとする民間活動のあり方について考えていきます。また、海外での事例も紹介し、外部から招いたゲストスピーカーから具体的な活動例をお話してもらっています。



2 専門ゼミナールI

3年次までの様々な学習を基盤にし、学生自身が探求したい課題の一つを決め、看護研究に取り組みます。授業は少人数のゼミナール形式で行われます。担当教員の指導を受けながら、関連文献の系統的収集や抄読、研究動機やテーマに関するディスカッションを通して、自分が明らかにしたい研究課題について焦点化していきます。さらに、研究課題に合った研究方法を検討し、看護研究の入り口となる研究計画書の作成を行います。これらの過程は学生が主体的に取り組むことによって進められます。



3 専門ゼミナールII

専門ゼミナールIで作成した研究計画書に基づいて、調査と分析を行います。結果は、看護研究論文としてまとめ、授業の集大成として、ポスター形式で研究発表を行います。学生は研究という学習を通して、看護職者に欠かすことのできない科学的根拠を基に考える力、論理的文章を書く力、プレゼンテーション能力などを養っていきます。学内で行う研究発表会には、研究にご協力いただいた病院や施設の指導者様をお招きしています。



4 総合実習

これまでの講義や実習を通して生じた各々の関心に基づいて、自らの探求したいテーマを明確にし、その専門領域の教員の支援のもとで、看護の専門性を深めていく実習科目です。具体的には、複数の対象者を受け持つ優先順位を考えながらの看護実践、メンバーシップやリーダーシップについて考えながら他者と協働する看護実践など、3年次より一段階上の実践能力を養うことをめざします。これらの学習をとおして、あらためて「看護とは何か」を吟味し追究していきます。



Pick up

5 災害看護活動論

本科目は、災害発生時に看護職として適切に行動できるように、平常時も含めた災害サイクルに合わせた災害医療および災害看護の知識と技術を学びます。災害が地域の人々の健康と生活に与える影響を理解することが土台となりますので、3年間の基礎科目から専門科目までの知識、とくに各看護分野で学んだ災害対応の知識・技術をここで統合していくことになります。さらに、外部講師を招き、実際の活動を教授していただき、技術指導を受けます。

本科目は看護師課程選択必修科目ですが、看護師・保健師課程の学生も選択しています。グループで様々な課題に取り組むのも楽しいものです。

写真は、基幹災害拠点病院から医師や看護師の実践家を招き、講義や技術指導を受けているところです。実例、実話をを用いた講義は、学生のころをグッとひきつけると同時に、災害時の看護は、日常の看護活動に基本があることを学生に気づかせてくれます。



手を握ってくださ〜い

呼吸は…

よく感じて

指導を受けながら、1次トリアージを体験しました。2例、3例と経験すると観察時間も短くなっていきます。

トリアージ・タグに
記載してみました。

主な実習施設紹介

ほとんどの臨地実習を新潟県内で行っています。

看護学実習(看護師課程)

- 新潟県立中央病院
- 独立行政法人 労働者健康安全機構 新潟労災病院
- 新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院
- 新潟県厚生農業協同組合連合会 けいなん総合病院
- 上越地域医療センター病院
- 独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター
- 医療法人三交会 三交病院
- 介護老人保健施設 高田の郷
- 介護老人保健施設 そよかぜ倶楽部
- 特別養護老人ホーム さくら聖母の園
- 在宅複合型施設 ケアハートみなかみ
- 特別養護老人ホーム みなかみの里
- 介護老人保健施設 くびきの
- 介護老人福祉施設 和久楽
- 介護老人保健施設 大誠苑
- 特別養護老人ホーム くやはら
- ケアセンター三好園 しんざ
- 有限会社 藤田企画 グループホーム癒しの家
- グループホーム 『癒しの家 清里』『癒しの里 直江津』『癒しの家 柿崎』『癒しの家 うらがわら』『癒しの家 池の平』
- 社会福祉法人 上越つくしの里
- 社会福祉法人上越頸城福祉会 夕映えの郷
- NPO法人さいがためくもりの会 グループホームぬくもりの家
- 医療法人財団 青溪会 駒木野病院
- 塚田こども医院
- 長岡福祉協会 こぶし訪問看護ステーション
- 新潟県看護協会 訪問看護ステーションつくし
- 十日町訪問看護ステーションポピー
- 上越医師会 訪問看護ステーション
- 医療法人常心会 訪問看護ステーション常心荘
- 訪問看護ステーション テンダー上越
- 株式会社リボーン 訪問看護ステーションリボーン
- ふもと訪問看護ステーション
- センター病院訪問看護ステーション
- 医療法人知命堂病院 訪問看護ステーション
- 訪問看護ステーションさすな
- 訪問看護ステーションキャッスル高田
- 訪問看護ステーションココロ上越高田駅前
- 訪問看護ステーションけいなん
- 訪問看護ステーションクオレ
- 訪問看護ステーションいといがわ

公衆衛生看護学実習(保健師課程)

- 上越保健所
- 糸魚川保健所
- 長岡保健所
- 柏崎保健所
- 市町村
- 上越市
- 糸魚川市
- 長岡市
- 柏崎市
- 刈羽村
- 妙高市
- その他、企業や学校 地域包括支援センター

助産学実習(助産師課程)

- 新潟県立中央病院
- 新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院
- 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院
- 立川メディカルセンター総合病院
- みちつき助産院

実習懇談会



1年に1回、本学の臨地実習でお世話になっている実習施設の管理者および臨地実習指導者の方にお集まりいただき、実習懇談会を開催しています。懇談会は全体会と分科会の二部制になっています。全体会では、学長、学部長、実習委員長から本学の教育のあり方をお伝えし、共に学生を看護職に育成していくためのお願いをしています。さらに、臨地の場で本学の教育方針に則り、責任をもって学生指導にあたっていただく方々に、「臨床講師」の称号を委嘱しています。分科会では、各看護学の科目群ごとに情報を共有し学生の実習指導のあり方について率直な意見交換を行います。施設の指導者同士が悩みを出し合い解決する場にもなっています。このような取り組みは、指導者と教員がともに学生指導について学び考える場であり、信頼関係を築く場にもなっています。さらに、施設からの要望に合わせて学生の実習指導に関する研修会を行うこともあります。

進路(就職・進学)

平成30年度卒業生(看護学部生90人:女子81人 男子9人)の進路状況

1.男女別

	県内就職	県外就職	進学	その他	計
女子	41人	32人	7人	1人	81人
男子	2人	7人			9人
計	43人	39人	7人	1人	90人

2.出身地別

就職・進学先	出身地	看護師	保健師	助産師	進学	その他	計
県内	新潟県	32人	7人	2人	4人	1人	46人
	県外	2人			1人		3人
県外	新潟県	18人		1人	2人		21人
	県外	19人		1人			20人
計		71人	7人	4人	7人	1人	90人

3.就職先別

		所在地県内	所在地県外	計
就職	国立病院	2人	5人	7人
	公立病院(県立・市立)	7人	9人	16人
	大学病院付属	11人	10人	21人
	法人その他病院	16人	15人	31人
	行政(保健師他)	7人		7人
	一般企業・その他	1人		1人
進学	看護教諭特別別科	5人	1人	6人
	大学助産学専攻		1人	1人
計		49人	41人	90人

就職・進学先の過去5年間(平成26年度~平成30年度卒業生)実績

就職

県内

- 新潟県立病院(中央病院、十日町病院、妙高病院等)
- 新潟大学医歯学総合病院
- 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院
- 独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院
- 独立行政法人国立病院機構 さいがた病院
- 新潟市民病院
- 南魚沼市民病院
- 社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会 新潟病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会 三条病院
- 新潟県厚生農業協同組合連合会(上越総合病院、けいなん総合病院、長岡中央総合病院)
- 日本赤十字社 長岡赤十字病院
- 上越地域医療センター病院
- 医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院
- 新潟県 ●新潟市 ●柏崎市 ●上越市 ●妙高市 ●糸魚川市

県外

- 長野県立こども病院
- 長野市民病院
- 日本赤十字社長野赤十字病院
- 群馬県立病院
- 群馬大学医学部附属病院
- 高岡市民病院
- 市立砺波総合病院
- 地方独立行政法人 宮城県立こども病院
- 千葉大学医学部附属病院
- 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター
- 埼玉県立病院
- 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
- 社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜市東部病院
- 日本赤十字社医療センター
- 東京女子医科大学病院
- 東京女子医科大学 八千代医療センター
- 日本医科大学付属病院
- 順天堂大学医学部附属病院
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 埼玉医科大学総合医療センター
- 関西医科大学附属病院
- 医療法人社団法人愛友会 上尾中央総合病院

進学

県内・県外

- 新潟大学 看護教諭特別別科
- 金沢大学 看護教諭特別別科
- 愛知県立大学大学院 看護学研究科(高度実践コース:助産師)
- 茨城県立医療大学 助産学専攻科
- 獨協医科大学 助産学専攻科
- 東京医療保健大学 助産学専攻科
- 佐久大学 別科助産専攻
- 畿央大学 助産学専攻科

CAMPUS LIFE 学生生活について

81

3年生
(平成30年度)

3年生では、演習が授業の中心になります。1、2年生で座学中心に学んだことを基礎とし、学生同士のグループワークの中で、新たな学びを得ながら、今までの授業の大切さを改めて実感する日々を送っています。

患者さんに安全で安心な看護を提供できるように、看護技術の練習をしたり、グループワークをすることは、悩んだり大変だと感じることも多いですが、同じ目標を持つ仲間とともに切磋琢磨しながら頑張っています。



継燈式にスライドショーを作成する際に、クラスの男子全員で撮ったものです。みんなで撮った写真の中で一番好きな写真です。



趣味のサッカー観戦の写真です。新潟のサッカーチームの応援のために、母親と一緒に毎週、スタジアムへ足を運んでいます。

Time Schedule

- 7:30 起床 身支度
- 8:30 学校到着
- 8:50 1,2コマ連続成人看護学演習
- 12:00 昼食
友人と一緒に学食を食べる
- 12:50 3,4コマ連続小児看護学演習
- 17:00 帰宅
- 18:00 アルバイト(接客業)
- 21:00 帰宅・入浴・夕食
- 22:30 課題・自己学習・明日の準備
- 24:30 就寝

82

2年生
(平成30年度)

2年生になり大学の環境にも慣れ、学習・生活ともに、より濃く充実してきたと感じています。特に1年次に比べさらに専門的でレベルの高い講義は、興味深くとも学び甲斐があります。また多忙な日々を過ごす中で、同じ目標に向かって進む仲間たちは、共に支え合える大切な存在です。

サークル活動では学年関係なく楽しい時間を過ごすことができ、良いリフレッシュの機会になります。他大学との交流や、外部からの依頼活動を通して、さらに多くの学びを得る機会にもなっています。



1年生の頃から食堂を利用して、少しずつおばさんたちと仲良くなったので写真を撮らせてもらいました。食堂でご飯を食べることは大学生ならではの楽しみであり、手作りの温かいご飯が食べられることの喜びとありがたさを感じることができます。毎日この時間が待ち遠しくて大好きな空間です。



継燈式のこの日、先輩方から灯を受け継ぎ、仲間たちと共にこれからの演習・実習にむけて決意を新たにしました。仲間の大切さを感じ、今後への覚悟を持つことができました。

Time Schedule

- 7:30 起床・身支度
- 8:30 自宅を出る
- 8:50 1,2限に成人看護学Ⅳの講義を受ける
- 12:00 昼休憩 友人と学食を食べる
- 12:50 3,4限に小児看護学Ⅱの講義を受ける
- 16:00 食堂やレセプションホールなどで自主学習
- 18:30 サークル活動
- 21:30 帰宅、夕食、入浴
- 22:30 課題、学習、予習
- 24:00 就寝



周辺MAP

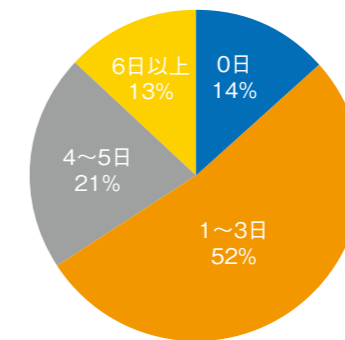
- ほとんどの下宿学生は、大学近辺に住んでいます。
- 大学周辺にはショッピングモールやスーパー、病院などがあり、日常には困らない環境があります。

平成30年度学生生活実態調査結果より

アルバイト

職種は、結婚式場のスタッフや、病院・診療所のスタッフ、家庭教師・塾講師など様々です。先輩や友人の紹介でアルバイト先を見つけることが多いようです。

1週間のアルバイト日数



学業との両立、
どうか？

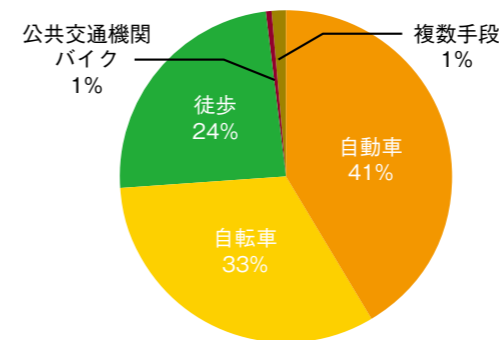
通学のための交通手段

やはり心配なのは冬の降雪ですね。冬季は、大学周辺の下宿学生は徒歩で安全に登校できます。豪雪地帯と言われても、冬の道路の除雪は完璧です！

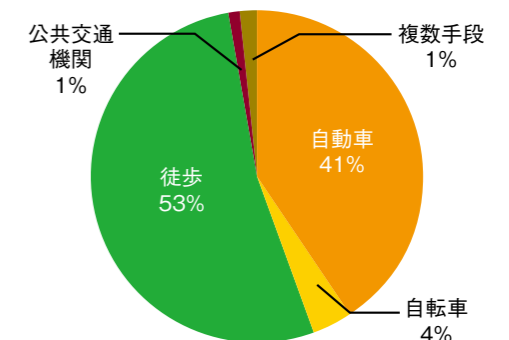
冬の新潟県立看護大学



夏の交通手段



冬の交通手段



サークル紹介



本学では、サークルが文化系、運動系、看護系の概ね3つに分かれています。多くの学生は掛け持ちで多数のサークルに所属して活発に活動しています。自分の興味、関心に応じて選び、学生生活をより楽しく実り豊かなものにして下さい。計24サークルがあります。その一部をご紹介します。

合唱サークル

合唱サークルの目標は「みんなで楽しく歌おう♪」です。初心者、経験者問わず他学年と交流しながら楽しく活動しています。ぜひ一緒に歌いましょう！



フットサルサークル

フットサルサークルです。フットサルサークルは日頃のサークル活動はもちろん、他大学や外部との試合も行なっている活発なサークルです！男女・経験者未経験者問わず、みんなで楽しみましょう！



吹奏楽団サークル

私たちは上越教育大学の学生と一緒に、年3回の演奏会を中心に楽しく活動しています！他の大学の学生との交流を深めることもできます。吹奏楽初心者も大歓迎です！



災害看護サークル

災害看護サークルでは、老人ホームでハンドマッサージを行ったり、AEDを使用した救命処置の訓練や救護ボランティアなどを行っています！興味がある方はぜひ一緒に学びましょう！



ダンスサークル

ダンスサークルでは、様々なジャンルに挑戦し、毎週木曜日みんなで楽しく踊っています！初心者も経験者も大歓迎！先輩方と仲良くなり、楽しくダンスがしたい！看護大で一緒に楽しくダンスしましょう！



認知症オレンジサークル

認知症の人とご家族が安心して暮らせるまちづくりを目標に、地域住民や小学生などを対象に認知症の講座を開催しています。仲良く楽しく、私たちと一緒に活動しませんか？



サークル一覧

- 広告研究サークル
- 野球サークル
- 合唱サークル
- 災害看護サークル
- 茶道サークル
- 手話サークル
- ソフトテニスサークル
- ダンスサークル
- バスケットボールサークル
- バドミントンサークル
- バレーボールサークル
- バンドサークル
- VSP (ボランティア・スペシャル・プロジェクト) サークル
- フットサルサークル
- ほしみサークル
- 水研究会
- よさこいサークル
- 陸上サークル
- 100徒歩サークル
- アウトドアサークル
- 認知症オレンジサークル
- NHD サークル
- いちよう食堂スタッフサークル
- 吹奏楽団サークル

継燈式

継燈式は、2年生が本格的な臨床実習を前に、先輩学生から“看護の燈”を受け継ぐイベントです。学生たちが自主的に企画運営します。



平成30年度
継燈式実行委員長

継燈式は看護職を目指す私たちにとって、自らの意志を再確認する重要な場面です。そのため、誓いの言葉や灯の受け渡し方などの式全体の流れはもちろん、式中に流す音楽、ユニフォーム(白衣)に付けるコサージュのデザインなどの細かいところまですべて、学生間の話し合いにより決めていきます。このように学生が主体となって式を作り上げるからこそ、専門職になるための決意を新たに、職業人としての自覚と責任感を持つことにつながったと考えています。



桜蓮祭

桜蓮祭は学生たちの年に1度のお祭りです。日ごろのサークル活動や学習活動の成果の発表など、工夫を凝らした催しものを準備し、地域の皆様もお招きします。



平成30年度
桜蓮祭実行委員長

平成30年度は「action～地域とともに踏み出す1歩～」というスローガンのもと桜蓮祭の企画、運営を行いました。新潟県立看護大学は日頃から地域とのつながりを大切にしており、一年次にはふれあい実習を、二年次以降の実習では地域の病院で実習を行い、地域医療を肌で感じ、将来に向けて実りある日々を過ごしています。そんな地域ともある私達が、地域の皆様のために何ができるかを考え、何かactionを起こせないかと思いこのスローガンにしました。

本学には様々なサークルがあり、日々熱心に活動に取り組んでいます。桜蓮祭ではその活動の成果を地域の皆様に発表させていただきました。災害看護サークルや認知症オレンジサークルなど看護系のサークルでは学校生活で学んだ知識を地域の皆様に発信し、よさこいサークル、ダンスサークルは演奏、踊りで地域の皆様に元気を与えることができたのではないかと思います。

また今年、よしもと興業さんからレギュラーさんとしゅんしゅんクリニックPさんにお笑いショーをしていただきました。しゅんしゅんクリニックPさんは医師免許を持った芸人さん、レギュラーさんは介護職員初任者研修の資格を持つ芸人さんで、笑いで医療に貢献している二組にお越しいただき、桜蓮祭を盛り上げていただきました。

自治会活動



平成30年度
自治会長

自治会執行部は主に学生が行う活動の企画・支援を行なっています。主な活動としてはサークル活動のサポート、他学年との交流を深めるイベントの企画などです。本学は新潟県で唯一の看護単科大学であり、約400人の学生が日々勉強に励んでいます。規模の大きい大学であるとは言えませんが同学年の仲も良く、先輩後輩の距離が近いことも魅力の1つだと思います。1年生は入学式後に学外オリエンテーションがあり、4年間苦楽を共にする仲間との交流を深めます。また全学年が参加できる球技大会や桜蓮祭など大学全体での活動も盛んであり、看護において大切なチームワークを学校行事や授業のグループワークなどから学びます。サークル活動も学年間の交流を深める1つの方法です。本学には看護大学ならではのサークルもあり、学生生活をより充実させることができます。

先生方も私たち学生を一人一人丁寧に見てくださっています。より良い授業を提供するために学生からアンケートをとり、内容に反映するなど様々な工夫をされています。また看護系の先生方は時に先輩看護師として私たちにアドバイスをくださいます。このようにたくさんの魅力があり、地域に必要とされ、地域に密着したこの大学で4年間学ぶことはきっと将来自分の糧になります。貴重な大学4年間を、ぜひ私たちと一緒に新潟県立看護大学で学生生活を送りませんか？

施設紹介

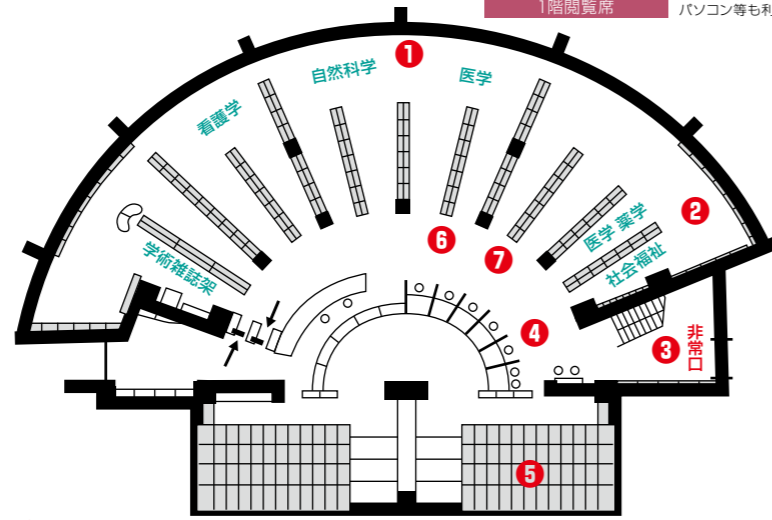
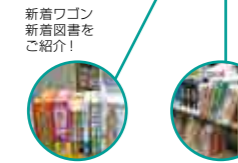
図書館 館内案内

1階

1階には保健・医療・福祉などの専門書のほか、一般雑誌・小説などがあります。



先生が選んだ
おすすめの一冊



7 シラバスワゴン
(シラバス掲載テキスト)

図書・雑誌・新聞のバックナンバーが
並んでいます

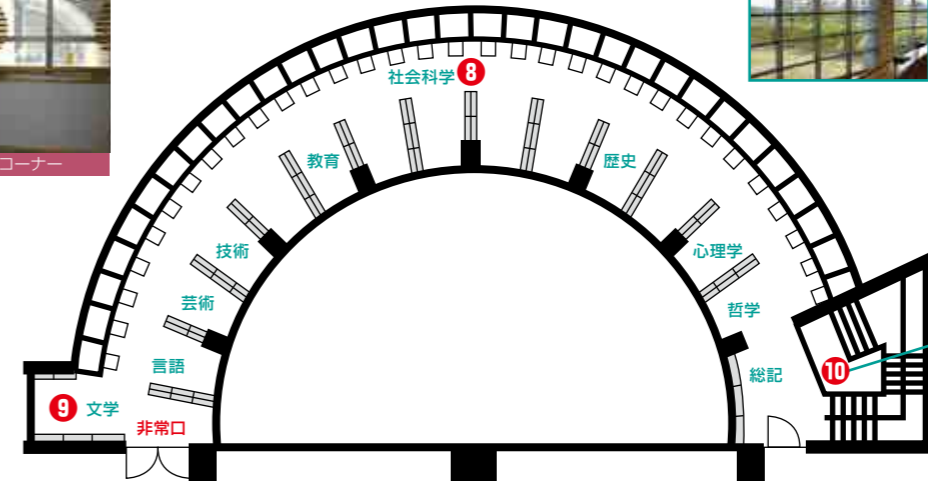


テーブル下の四隅にコンセントがあります。
パソコン等も利用できます。



2階

2階には心理学・文学・教育学などの一般教養書が並んでいます。すべての席にコンセントが配置されているので、パソコンを利用することが出来ます。



1階、階段横にあります。是非ご利用ください。



学習席からの景色。
窓の外には南楽山や金谷山が望めます。



図書館

採光のとれたゆったりした館内で看護学や医学にじっくり向き合うことができます。

図書館は明るい陽射しが差し込み、居心地のよい空間で、看護学に関する様々な本があります。看護学に関連する分野の本も用意してあります。人の心を打つ文学の本もあります。図書館は、勉強する人達の強い味方です。ノートパソコンの為に電源、Wi-Fi(無線ネット)も完備しています。

ぜひ、大いに活用してください。図書館は知の館、学びものの味方です。



食堂

講義や演習終わりの昼食はもちろん放課後、サークルや友人との交流の場ともなっています。日替りランチや、そば、うどん、ラーメンなどを用意してお待ちしています。



自習室

学内での課題や実習のまとめ、国家試験の勉強等自主学習ができる設備があります。



コンビニ

ジュース、お菓子類はもちろん、看護学生には欠かせない、髪の毛や靴下等充実した品ぞろえです。本学のオリジナルファイル等のグッズもあります。



情報科学教室

100台のパソコンを設置。文書作成、表計算、プレゼンテーションについての演習を行います。



レセプションホール

3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建築構造を活かした演奏会などにも利用できます。

看護研究交流センター

看護研究交流センターは、本学の教育・研究の成果を地域で活用していただくために設立されました。“いきいきサロン”や“市民公開講座”などの開催を通し、大学と地域の交流の場を担っています。



看護研究交流センターの主な事業・業務

- 先駆的学習支援部門
【市民公開講座】
【看護大・上教大連携公開講座】
医療分野の著名な知識人や、先駆的な取り組みを行っている実践者を招いた市民公開講座を開催します。また、上越教育大学との連携事業を担います。
- 看護職学習支援部門
看護職・介護職向けの講座(どこでもカレッジ公開講座)を実施しています。看護職にはインターネットを利用したプログラム(登録会員のみ)もあります。
- 地域社会貢献部門
健康に関心のある地域のみならず、医療・看護の専門家との交流会である「いきいきサロン」を開催し、地域住民への学習機会を提供しています。
- 地域課題研究開発部門
県内の保健医療現場における看護専門職と大学職員の共同研究「地域課題研究」に関する事業や「上越地域の看護研究発表会」の開催を担います。
- 特別研究部門
【地域政策課題についての研究】
【卒業生支援のための調査】
行政や地域の関係諸機関と連携し、新潟県内の地域課題に対応した研究に取り組んでいます。
- 出前講座
各種の専門的な講座を地域団体、企業、学校等へ出向き、学習の場を提供しています。

令和2年度 入試概要

1 募集定員

入学定員	推薦入試	社会人入試	一般入試	
			前期日程	後期日程
95名	35名	若干名	50名*	10名

*一般入試（前期日程）の募集人員には、社会人入試の若干名を含みます。

2 個別試験科目

区分	推薦入試	社会人入試	一般入試	
			前期日程	後期日程
個別試験科目	小論文 面接	面接	小論文 面接	小論文 面接
試験会場	新潟県立看護大学			
出願期間	令和元年11月1日(金)～ 11月8日(金)	令和2年1月27日(月)～ 2月5日(水)		
試験期日	令和元年11月16日(土)	令和2年 2月25日(火)	令和2年 3月12日(木)	
合格発表	令和元年11月29日(金)	令和2年 3月5日(木)	令和2年 3月20日(金祝)	

3 選抜方法等

1 推薦入学試験

- (1) 出願資格
次の①～④のいずれにも該当し、高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できる者で、1校につき、5名以内とします。
- ①新潟県内の高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
 - ②調査書の全体の評定平均値が3.8以上である者
 - ③看護学に関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
 - ④合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

(2) 選抜方法

小論文試験（広く読解力、表現力、論理的思考力等をみる。図表読解、英文読解を含む。）、面接試験及び出願書類の内容を総合して判定します。

なお、面接試験においては、A～Eの5段階評価を行い、評価がEの場合は、合計点の如何にかかわらず不合格とします。

(3) 試験科目・配点

試験区分	小論文	面接	合計
推薦入試	200	100	300

2 社会人入学試験

(1) 出願資格

次の①～③のいずれにも該当する者としてします。

- ①大学入学資格を有する者
- ②令和2年4月1日時点で、社会人の経験を3年以上（夜間・定時制・通信教育以外の学校、専修学校及び各種学校に在籍していた期間を除く。）有する者
- ③看護学に関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者

(2) 選抜方法

小論文試験（広く読解力、表現力、論理的思考力等をみる。図表読解、英文読解を含む。）、面接試験及び出願書類の内容を総合して判定します。

なお、面接試験においては、A～Eの5段階評価を行い、評価がEの場合は、合計点の如何にかかわらず不合格とします。

(3) 試験科目・配点

試験区分	小論文	面接	合計
社会人入試	200	100	300

3 一般入学試験

(1) 出願資格

大学入学資格を有する者で、令和2年度大学入試センター試験で本学受験に必要な教科・科目を受験した者。

(2) 選抜方法

大学個別試験、大学入試センター試験の得点結果及び出願書類の内容を総合して判定します。

前期日程の大学個別試験では面接試験を実施します。後期日程の大学個別試験では小論文試験（読解力、表現力、論理的思考力等をみる。）と面接試験を実施します。

なお、面接試験においては、A～Eの5段階評価を行い、評価がEの場合は、合計点の如何にかかわらず不合格とします。

(3) 令和2年度大学入試センター試験で本学受験に必要な教科・科目（5教科6科目又は5教科7科目）

教科名	科目名	科目選択の方法
国語	「国語」	必須
地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	左記から1科目を選択 2科目受験の場合は第1解答科目を採用
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記から1科目を選択 左記から1科目を選択(注)
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目を選択 「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目並びに「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目受験の場合、高得点の科目を採用
外国語	「英語」	必須 「リスニング」を含む

(注)「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できるものは、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。

(4) 試験科目・配点

区分	大学入試センター試験					大学個別試験		合計	
	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語(リスニング含む)	小論文	面接		
一般入試	前期日程	200	100	200	100	250	-	200	1,050
	後期日程						100	100	1,050

大学院 看護学研究科 看護学専攻

Graduate School (博士前期課程・博士後期課程)

看護学の学びを深める

臨床・臨地での課題に向き合う

未来志向の保健医療福祉を思考する

アドミッションポリシー【求める人材】

博士前期課程 アドミッションポリシー

- 地域社会で保健・医療・福祉の向上における貢献を目指す人。
- 看護の専門性に基づいた高度な知識と卓越した看護実践能力を修得しようとする人。
- 看護実践から生じた課題を深く探求する明確な意志がある人。
- 教育・研究・看護実践活動にリーダーとして貢献する意志がある人。

専門分野	看護管理学	基礎看護学	母性看護学
	小児看護学	成人看護学	がん看護学
	老年看護学	精神看護学	地域看護学

博士後期課程 アドミッションポリシー

- 看護学を専攻する看護専門職として必要な教養と素養、倫理観を備えている。
- 看護学に関連する基礎的な研究能力を有し、自立して研究に取り組む姿勢を備えている。
- 看護学の充実・発展・革新を志向し、高度な専門的知識・技術と教育指導力を備えている。
- 看護学研究者、看護管理者、看護学教員として職業活動に従事することを強く志望している。
- 論理的思考と柔軟な発想をもち真理を探究できる。
- これまでの看護実践や研究を通して取り組むべき研究課題を有している。

専門分野	看護教育学	看護管理学	成人・がん看護学
	母子看護学	老年看護学	精神看護学
	地域・在宅看護学		

特色

①専門看護師(CNSコース)を設置

博士前期課程では、専門看護師受験資格を得るための教育機関として、平成26年度に「がん看護(38単位)」、平成30年度に「老年看護(38単位)」の教育課程の認定を受けました。

②社会人の就学

社会人の方にも就学しやすい環境を提供するため、教育方法の特例を適用して授業を行っています(昼夜・土日開講)。

③長期履修制度

仕事、育児、介護などの事情で標準修業年限での履修が困難な場合に、博士前期課程は2年間分の授業料で最長3年間、博士後期課程は3年間分の授業料で最長6年間学ぶことができる制度を設けています。



選抜方法等

博士前期課程 募集人数…15名
選抜方法…筆記試験(英語・看護専門科目)、面接
試験期間…8月入試 令和元年8月29日(木)
1月入試 令和2年1月30日(木)
8月入試において定員に達した場合は1月入試を実施しない場合があります。

博士後期課程 募集人数…3名
選抜方法…学力検査(英語)、面接(口述試験)
試験期間…1月入試 令和2年1月30日(木)

授業料等

入学考査料…30,000円
入学金…564,000円(新潟県以外の住民)
282,000円(新潟県の住民)
授業料…535,800円/年

